

令和7年度 東京都立小山台高等学校

推薦に基づく選抜

小論文

注 意

- 1 問題は

1

 と

2

 の2問で、6 ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は 50 分で、終わりは午後 0 時 30 分です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 答えは全て解答用紙に明確に記入し、**解答用紙だけを提出しなさい。**
- 5 書き出しや改行の際の空欄、。(句点) や、(読点) や「」(かぎカッコ) などそれぞれ一字と数えなさい。
- 6 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 7 **受検番号**を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

A dense, repeating pattern of small, stylized, light blue and green geometric shapes, possibly representing a textured surface or a digital background. The pattern consists of numerous small, interconnected shapes that create a complex, woven appearance. The colors are a mix of light blue and light green, with some darker green accents. The overall effect is a vibrant, textured background that resembles a close-up of a fabric or a digital mosaic.

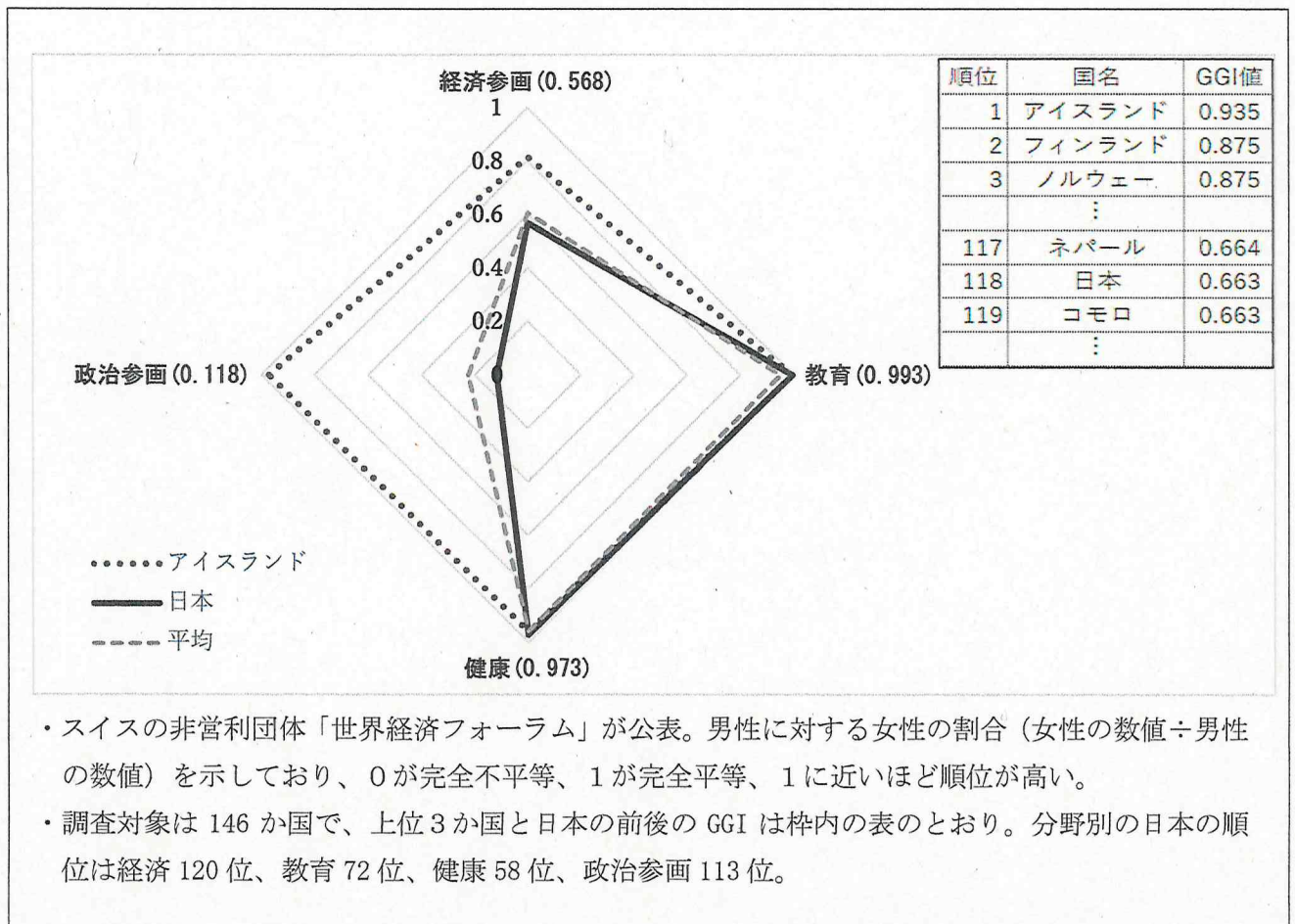
問題は次のページから始まります

1 資料を読んで下の各問に答えなさい。

問1 (資料1-1)、(資料1-2)から日本の教育について分かることを 150 字以内でまとめなさい。

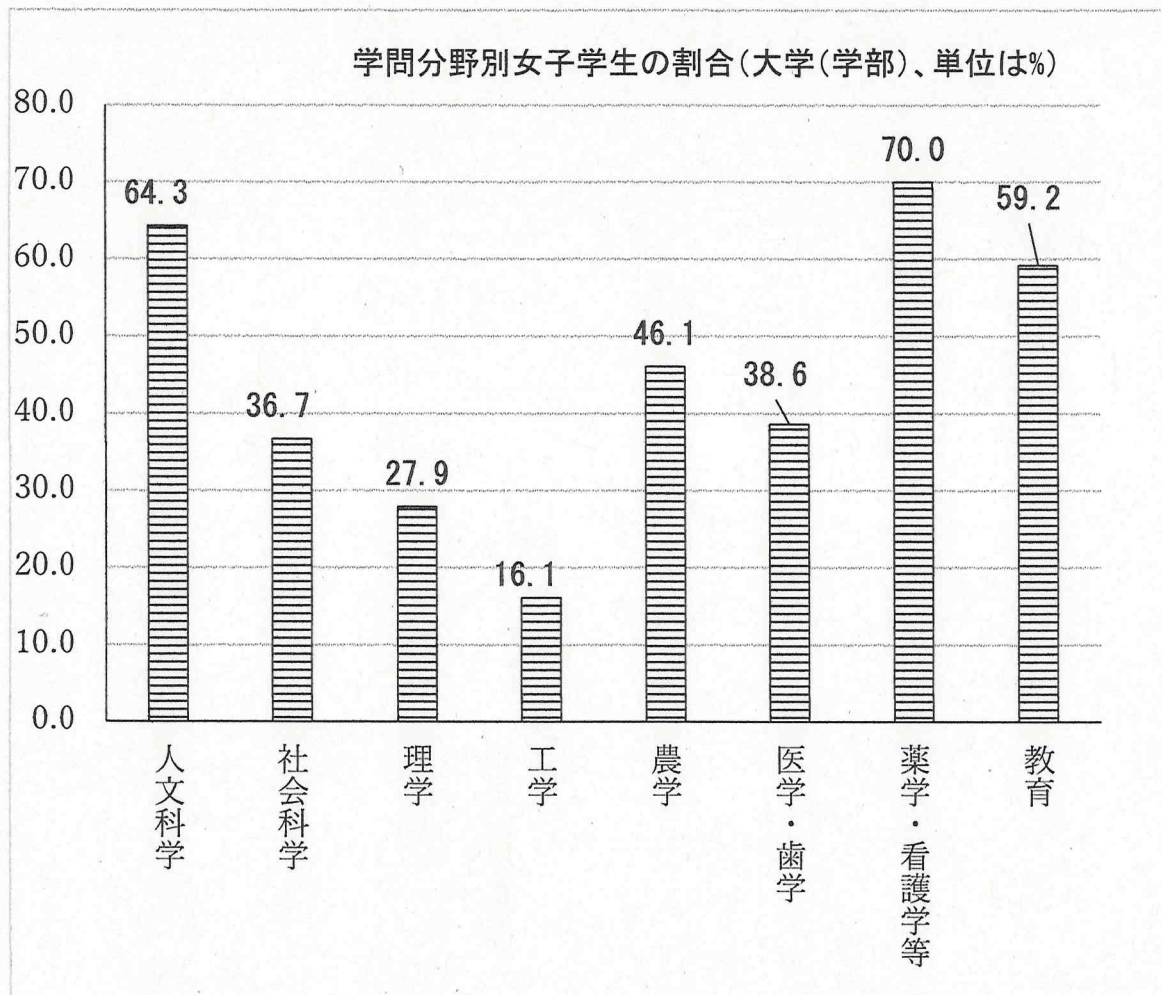
(資料1-1)ジェンダーギャップ指数(GGI)2024 年

ジェンダーギャップ指数は、給与格差、政治への参加度、教育機会、健康・医療の格差など様々な領域を評価しています。そのため、様々な領域の男女間の格差をジェンダーギャップ指数で表すことで、そして国際間で比較することで、男女平等の進捗状況を示すことができます。ジェンダーギャップ指数は、男女間の平等が進んでいるかどうかを客観的に評価する手段であり、世界全体での男女平等の実現に向けた重要なステップなのです。



世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書(2024)」より作成

(資料1-2)「大学(学部)学生に占める女子学生の割合(専攻分野別、令和5(2023)年度)」



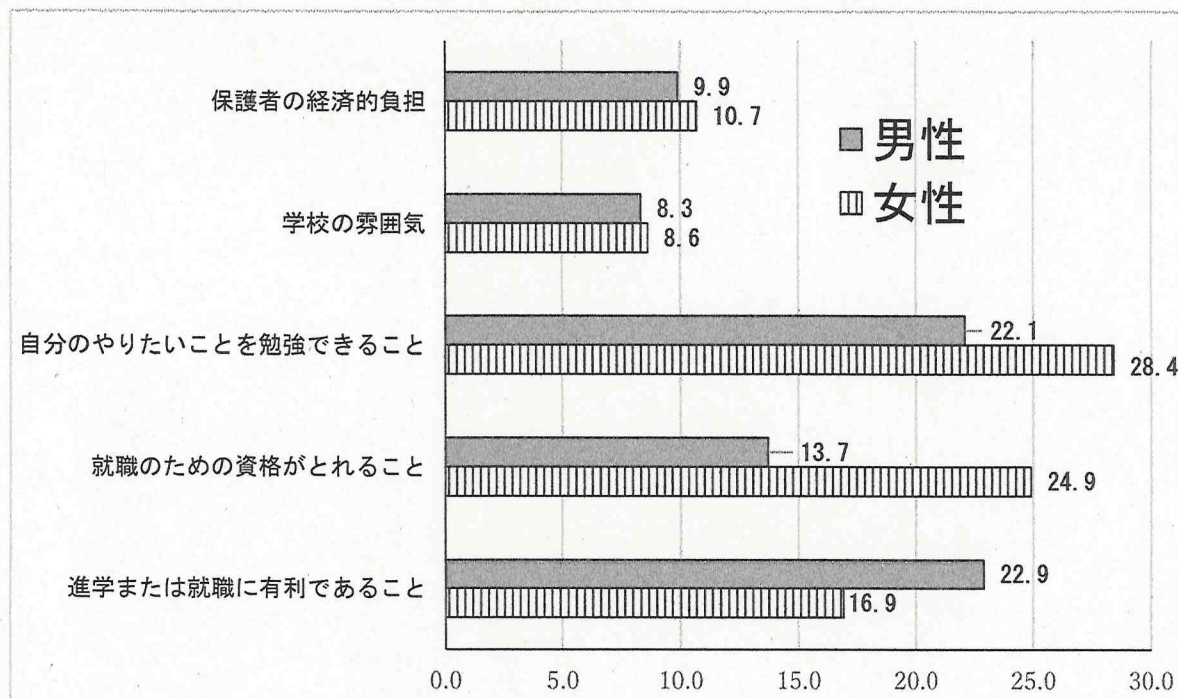
文部科学省「学校基本統計」(令和5(2023)年度)より作成

<参考：各学部の専門分野について>

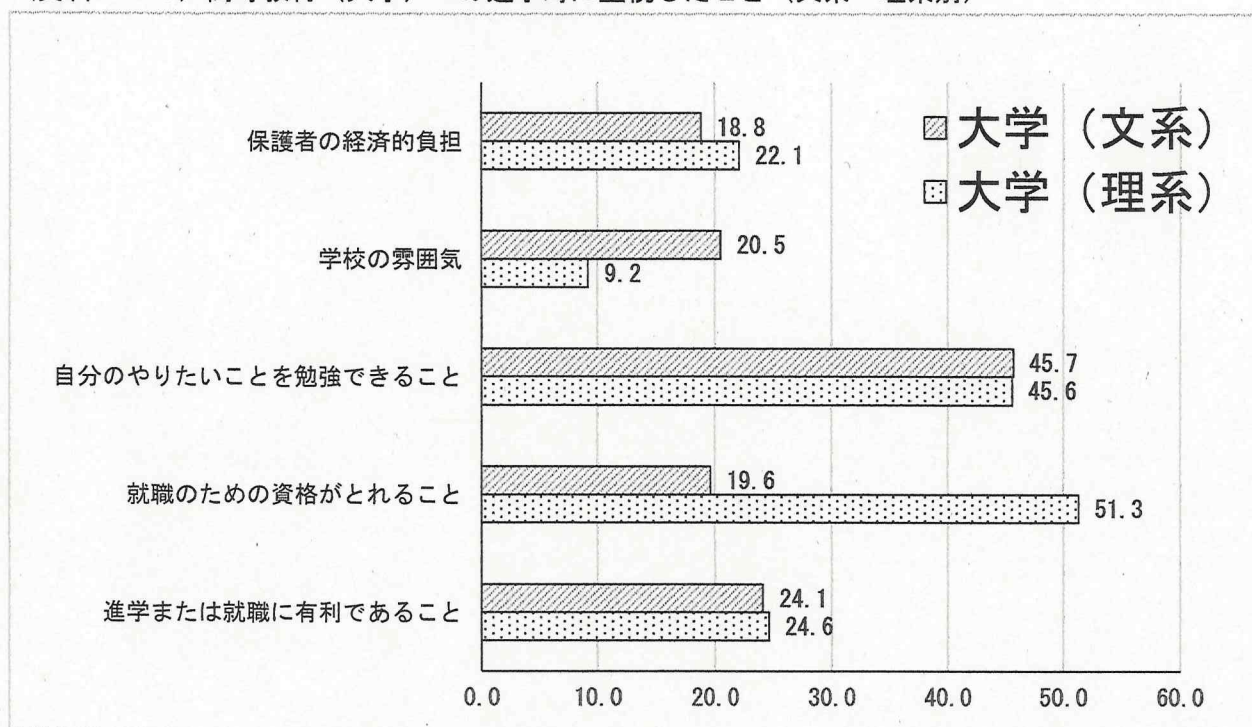
- 1 人文科学とは、政治、経済、社会、歴史、文芸、言語など、人類の文化全般に関する学問の総称。
- 2 社会科学とは、政治学、法学、経済学、社会学、社会心理学、教育学、歴史学、民族学など、社会のルールや運営法、生産・消費活動、組織、社会問題など、社会のあらゆる要素を研究対象とする。
- 3 理学とは、数学、物理学、化学、生物学、地学など自然の仕組みを解き明かし、自然界の原理や法則、現象を研究する学問。理学における基礎研究の発展は、工学や他の学問分野の発展を助ける。
- 4 工学とは、数学や物理学、化学などの自然科学を基礎に、社会に役立つ人工物を開発する学問。工学の対象となる領域は広く、機械工学、電気工学、土木工学、建築工学、応用化学など、さまざまな分野がある。
- 5 農学は、農業・林業・水産業・畜産業などに関わる、応用的な学問。
- 6 薬学とは、薬に関するあらゆることを学び、研究する学問。薬の作用について研究し、新治療の実現をめざす。

問2 (資料1-3)及び(資料1-4)から、日本において女子の大学工学部への進学率を向上させるために必要なことは何だと考えられますか。あなたの意見を述べなさい。

(資料1-3) 高等教育(大学・短期大学・専門学校)への進学時に重視したこと(男女別)



(資料1-4) 高等教育(大学)への進学時に重視したこと(文系・理系別)



(資料1-3)・(資料1-4)ともに「令和元年度男女共同参画白書」より作成
 ※数値の単位は%。複数回答可能であるため、合計が100%にはならない。

次のページへ進む

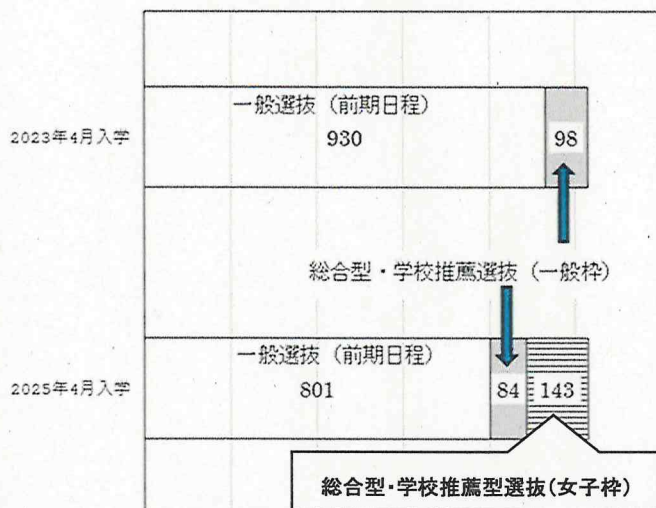
- 2 (資料2-1)と(資料2-2)を読み、大学入学試験において理工系学部^{※1}の総合型選抜^{※1}に「女子枠」を設けることについて、賛成、反対、どちらかの立場から 450 字以上 500 字以内で意見を述べなさい。
- その際、(資料1-1)から(資料1-4)までを踏まえること。

(資料2-1)大学入試における女子枠の例

東京工業大^{※2}は 10 日、2025 年度までに学校推薦型選抜^{※3}と総合型選抜（旧 AO 入試）で計 143 人の「女子枠」を創設する入試改革を発表した。東工大^{※4}の総募集人数の 14%を占める異例の規模で、現在は 13%に低迷する学士課程（学部）の女子学生比率を 20%以上に高めることをねらう。

女子枠は東工大の全 6 学院（学部^{※5}に相当）で導入する。24 年度入試では、物質理工や生命理工など 4 学院で計 58 人、25 年度は理学院と工学院で計 85 人の女子枠を新設する。総募集人数（計 1028 人）は変更せず、一般選抜枠を 930 人（23 年度）から 801 人（25 年度）に減らす。

東工大の選抜方式別定員



同日の記者会見で、東工大の益一哉^{ます}学長は、米マサチューセッツ工科大の学生は半数近くが女性だとし、「日本の理工系は産業界でも男女のバランスが悪い。20 年、30 年後を見据えて一步を踏み出さないと世界からさらに遅れる。女性の入学者が増えれば、東工大がもっと活性化する」と期待を示した。

東工大は東京医科歯科大と 24 年度をめどに統合することで合意したが、入試は当面、両大学の仕組みを維持するとしている。

経済協力開発機構（OECD）の調査では、大学学部の女子学生のうち理工系分野への入学者は OECD 平均が 15%に対し、日本は 7%と低い。こうした状況を是正しようと、文部科学省は、理工系分野の入試に女子枠を創設するよう各大学に促している。23 年度入試では、名古屋大や島根大、富山大が一部の学部で女子枠を設ける。

令和 4 年 11 月 10 日「読売新聞デジタル」

- ※1、※3 総合型選抜、学校推薦型選抜 大学入学者選抜試験における入試方式の一つ。
- ※2、※4 東京工業大、東工大 国立大学法人 東京工業大学（当時）

(資料2-2)特集「女子枠」制度を考える 研究者から見た意義と課題

特定の性別を出願の要件とするため、平等性が担保されないと懸念する声もある。日本国憲法で保障されている「法の下での平等」を踏まえて、女子枠制度をどのように説明できるのだろうか。憲法学が専門の曾我部真裕・京大法学研究科教授に話を聞いた。

○特定の属性を持つ者に限定した受験枠の設置について法学的な視点からどのように説明できるか。

平等原則と緊張関係のある措置だという理解が一般的です。(中略) 多様性の指標は性別だけではありません。出身地など他の属性がある中、とりわけ性別を取り上げた理由を考える必要があります。

○同様の例として、アファーマティブ・アクション※¹がある。

アメリカのアファーマティブ・アクションは、人種で区別しますが、基本的には性別で区別する場合と同じ理論で説明できます。

アファーマティブ・アクションを正当化する理由についても議論があり、アメリカの連邦最高裁では「多様性」が採用されました。最高裁は近年まで、一定の方式であれば合憲だとしていましたが、昨年の判決で覆り、憲法違反だとされました。長年実施してきた割に効果があまり明確に現れておらず、白人以外のマイノリティ※²集団の間で不平等が生まれたことが背景にあります。アフリカ系に対するアファーマティブ・アクションによって、アジア系が減るのであれば、多様性確保の目的を果たしたとは言えないですから。

○アメリカでは、人種を加点要素の1つとするのは認められるが、別枠の設置は認められないとした判例もある。平等原則との関係から見て、加点と別枠で望ましいのはどちらなのか。

根本的には、社会的なバイアスに原因があるので、実は個々の大学ができることはあまりありません。(中略) いまのようなささやかな「女子枠」を設けることも個々の大学にできることの1つではありますが、そこで数名の女性が入学すること自体には大きなインパクトはなく、それを呼び水にして全体の意識変革につなげていくことが求められます。そのために大学は、内外に向けた説明・情報発信や、その他の取組を戦略的に展開していく必要があります。

令和6年6月1日「京都大学新聞」より一部抜粋

- ※1 アファーマティブ・アクション … 積極的差別是正措置とも呼ばれる。人種、民族、性別などにより歴史的、構造的に不公平・不利益を被(こうむ)ってきた集団に対し、就学・就業などにおいて図られる優遇(ゆうぐう)措置(そち)。
- ※2 マイノリティ … 少数派。ここでは就職や進学の際に社会的に不利な立場に置かれてきた側の人種・民族的グループのこと。